

みずいろ通信 vol.22

2024年
9月発行

いろんなくらし 週末里親ってなあに？

～ぼくとしせつとときどきおでかけ～

7月28日(日)四恩たまみず園にて

週末里親説明会を開催しました。

この説明会、前回までは週末里親相談会として実施しており、通算7回目を迎えました。

厳しい暑さの中2組3名の方にご参加いただき、みなさん、メモを取り熱心に聞いてくださっていました。実際に週末里親さんとして活動していただいているかたの体験談を聞き、より興味を持ってもらえたようでした。相談会の前に質問を受け付ける中、複数の質問が飛び交い、質問に答えた4sも熱い思いをお答えすることで、より充実した時間となりました。個別の相談会では、たくさんのご相談をいただきました。ありがとうございました。

こどもたちの育ち

当乳児院ではこどもたちの“育ちをつなぐ”ということを大切に養育しています。生後すぐから乳児院での生活が始まり、とても大切に大事な時を私たちと過ごします。

こどもたちの中には里親さんとの出会いを待っているこどもがいます。乳児期のこどもは成長発達が著しく、また生まれてから「はじめて」をたくさん経験しますが、里親さんと出会うまでは、担当職員中心にこどもたちが全力で表現してくる気持ちを受け止め、寄り添いながら「あなたのことがだいすき」と丁寧に関わり、里親さんと会える日を一緒に待っています。

里親さんが決まると担当職員がこれまでのあんなことやこんなことを記録したエピソードや写真を見ながらお話をし、〇〇ちゃんがかけがえのない存在だという事を里親さんにもつないでいきます。

おうちへ行く時には乳児院で作ってきたアルバムを渡します。乳児院からの続きには新たな写真がたくさん増えていくことでしょう。アルバムを里父母とこどもで見返しながら、「あんなこともあったね、こんなこともあったね」と乳児院のことも話してもらえたらいいなと思っています。

四恩みろく乳児院

こどもの成長を見守り続けて…

当院へ入所する子どもの中には養育里親宅や特別養子縁組で迎えられる子どもがいます。里親宅へ迎えられまでに何度も交流を重ね、安心して暮らせるように里親とこどもの関係づくりを第一に考えます。里親宅へ迎えられた後もアフター支援として家庭訪問を行い、里親さんの悩みや今感じていることに耳を傾け、一緒に子どもの養育について考えています。また必要に応じてメールや電話などで様子を尋ねたり、節目には誕生日カードや入学カードなどを送り、子どもの成長を見守ります。

里親宅へ迎えられた後も「里帰り」という形で乳児院に来院されるご家庭があります。子どもの生い立ちの振り返りでは、赤ちゃんの頃のアルバムの写真を見てどんな赤ちゃんだったかお話します。子どもたちは自分の赤ちゃんの時の手形と手をあわせ「めっちゃ小さい…」と恥ずかしそうにしながらも嬉しそうな表情をしています。里親さんと共に成長を喜び合い、たくさんの大人から大切にされてきたことを子ども自身が感じられるひと時になればと感じています。

これからも里親子に寄り添い続ける乳児院でありたいです。

すみれ乳児院



週末里親さん活動編

お盆前にお墓参りに連れて行ってもらったM君
お墓を綺麗に掃除したり、お線香をあげたり、ご先祖様のお話などに興味津々だったようです。
週末里親さんも「M君がお墓をきれいにしてくれて助かりました」と話しておられました。

夏休み、週末里親さんと一緒にオリンピックを夜中まで観ていた「K君」
眠気に負けて最後まで観れなかったけれど、選手の健闘を大きな声で一緒に喜んだそうです。

プールやキャンプそして映画鑑賞などを体験
させていただいたり
暑い日などは家でゲーム三昧やかき氷を作って食べるなど工夫をしてくださっています

お知らせ

11月・12月 駒川商店街でイベントします！
11月16日(土) クレオフェスタに出展します！
12月8日(日) 「さとおやっとなあに」外大大阪中央にて
セミナーを開催します！

チラシができて次第アップします！

●お問合せ先●

一般社団法人 大阪市児童福祉施設連盟
里親支援委員会
事務局：聖家族の家
担当：萱津 なやと
06-6699-7221